

わしょく わ が し した えほん
和食・和菓子に親しむ絵本

かずくんと

りょうり

おせち料理

とう しょうがつ
～ お父さんもいっしょのお正月 ～





きょう
今日はクリスマス。

かあ ようい おお
お母さんが用意してくれた大きなケーキがうれしいかずくん。

かあ
かずくん「お母さん、ありがとう！」

かあ た
お母さん「たくさん食べてね。クリスマスプレゼントもあるよ」

おお
かずくんは大よろこびです。



^{かあ}お母さん「はい、プレゼントよ。^た食べてから^あ開けようね」

かずくん「わーい、うれしいな。^{なに}何^{はい}が入っているんだろう？」

かずくんはプレゼントの箱を^{はこ}大事^{だいじ}そうに^{かか}抱えています。

^{かあ}お母さん「それにクリスマスカードもね」

^{かあ}お母さんはかずくんに^{わた}カードも渡しました。



おお ^{しゅうかん}
大みそかから1週間、
^{いちじ きこく}
一時帰国します。
^{とう}
お父さんより 

カードにはこう書かれていました。

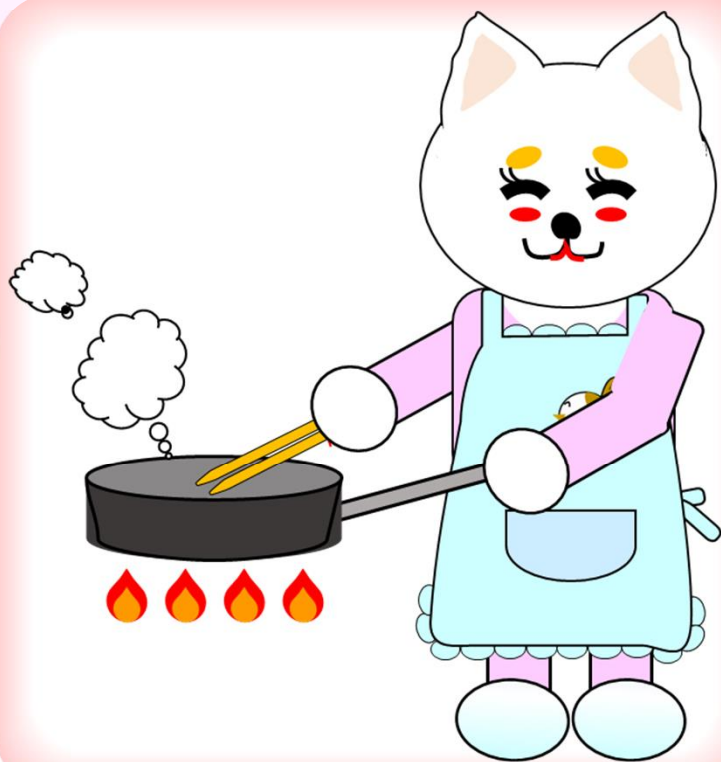
おお ^{しゅうかん いちじ きこく}
大みそかから1週間、一時帰国します。

^{かあ} ^あ ^{たの} ^{とう}
かずくんやお母さんに会えるのが楽しみです。お父さんより

^{とう} ^{かえ}
かずくん「お父さん、帰ってくるんだって！」

^{かあ} ^{しょうがつ} ^{いっしょ} ^す
お母さん「お正月をみんなで一緒に過ごせるね」

～ 大みそか ～



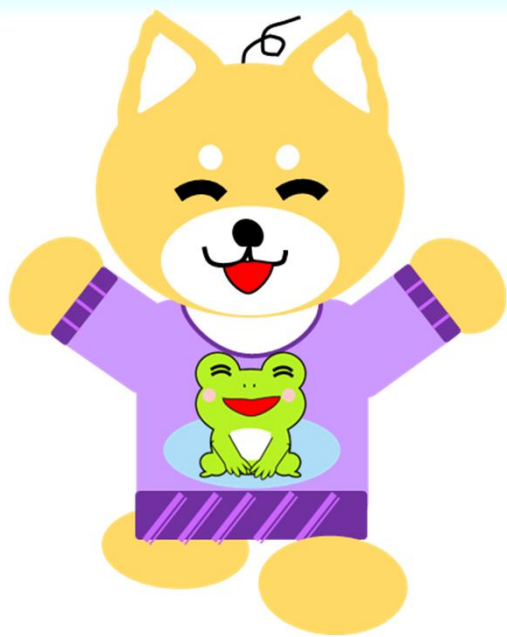
きょう とう かえ ひ
今日はお父さんが帰ってくる日。かずくんはおばあちゃんに

おし つく
教えてもらったおにぎりやおみそしる、おかしを作っています。

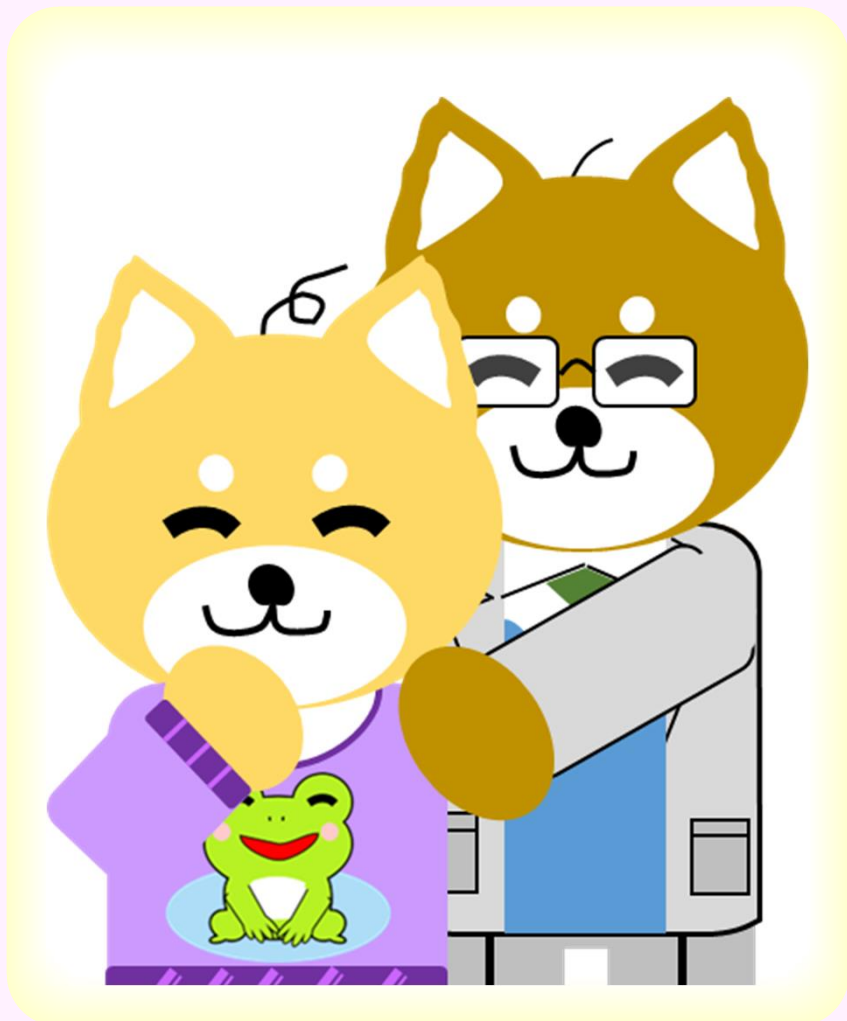
かあ じょうず
お母さん「かずくん、上手にできてるね」

とう
かずくん「ほんと？お父さん、よろんでくれるかな？」

かあ おお
お母さん「きっと大よろこびよ」



おかえり～！



^{とう}お父さん「ただいま、かずくん！」

かずくん^{とう}「お父さん、おかえりなさい！」

^{とう}お父さんが帰ってきて、^{かえ}久しぶりに^{ひさ}家族^{かぞく}3人^{にん}がそろいました。

かずくんは^{えがお}ずっと笑顔です。

^{かあ}お母さん「さあ、みんなでごはんにしましょう」



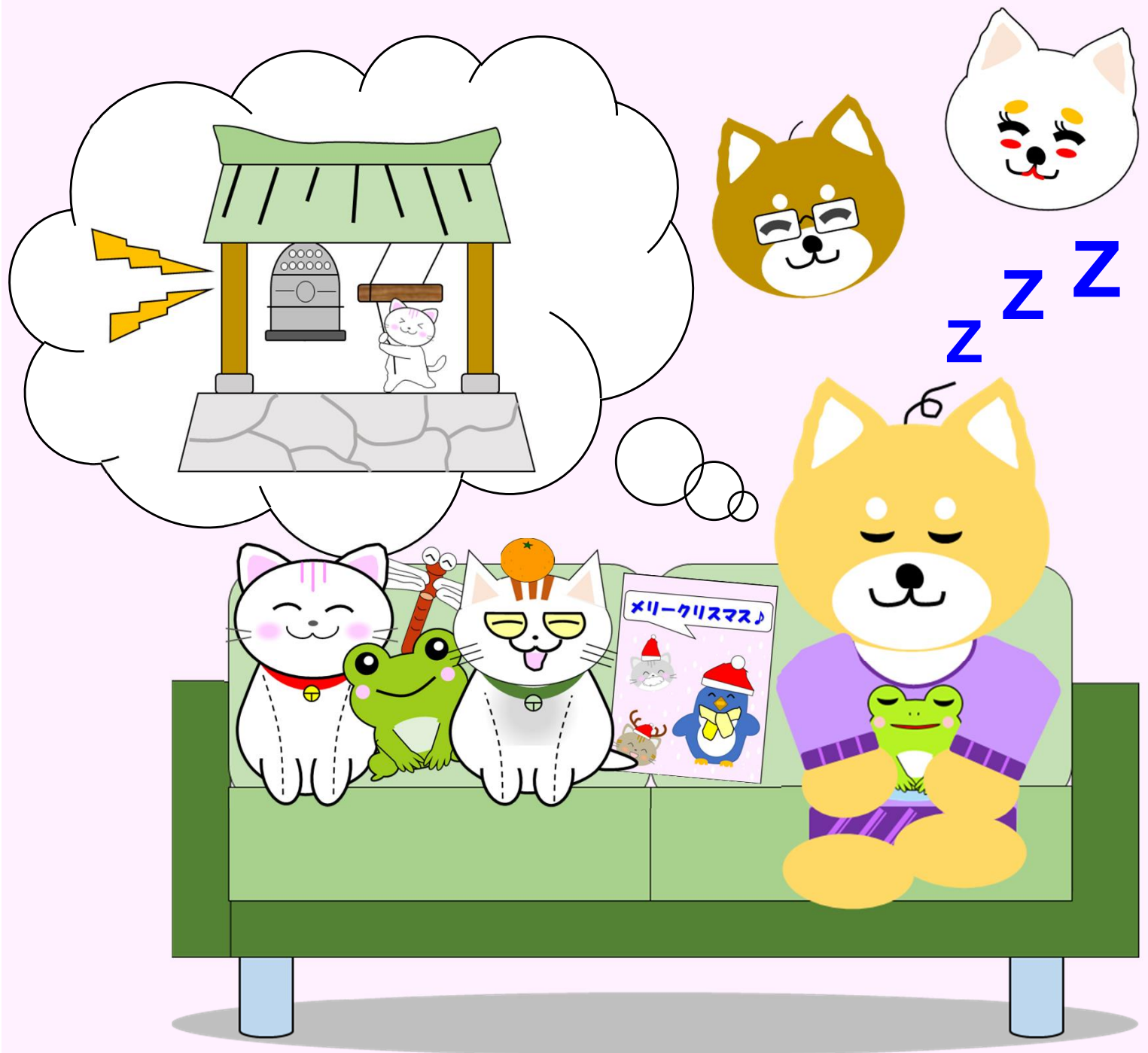
テーブルにはお母^{かあ}さんが作^{つく}った年越^{としこ}しそばや、

かずくんが握^{にぎ}ったおにぎりなども並^{なら}んでいます。

お父^{とう}さん「おにぎりもおみそしるも、おかしもおいしいよ」

かずくん「よかった！あとでおばあちゃんにも報^{ほうこく}告するね！」

みんなでおいしくごはんを食^たべながら、楽^{たの}しくお話^{はなし}しました。



とう かえ よ
お父さんが帰ってきたのがうれしくて夜ふかししたかずくん。

ま ねむ
いつの間にかソファで眠ってしまいました。

じょや かね ね ゆめ なか き
除夜の鐘の音は、夢の中で聞こえたようです。

とう かあ ねがお
お父さんとお母さんは、そんなかずくんの寝顔を

やさ みまも
優しく見守っていました。

～ 元日 ～



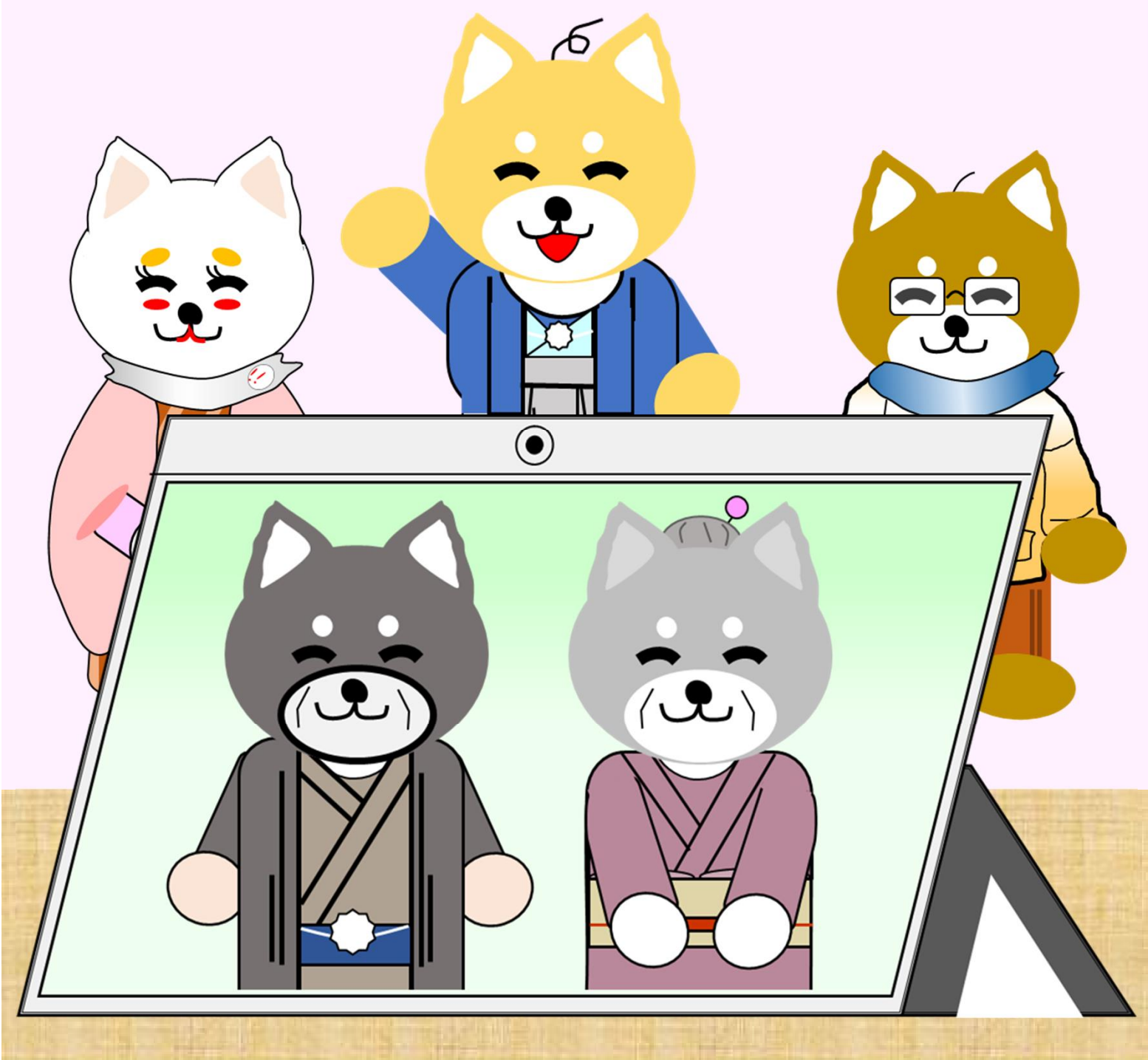
「あけましておめでとうございます」

しんねん むか
新年を迎え、みんなでごあいさつ。

お でんわ じゅんび
タブレットが置かれ、テレビ電話の準備ができました。

かあ
お母さん「さあ、おじいちゃんとおばあちゃんにも

しんねん
新年のごあいさつをしようね」



がめん
タブレットの画面におじいちゃんとおばあちゃんが映りました。

かずくん「おじいちゃん、おばあちゃん、

あけましておめでとう。おにぎり、ほめてもらったよ」

おばあちゃん「よかったね。また一緒に作ろうね」

おじいちゃん「今年もうちに遊びにおいでね」



おじいちゃん、おばあちゃんへのあいさつのあとは初詣。^{はつもうで}

^{じんじゃ} ^{ねが} ^{こと}
神社でお願い事をします。

かずくん「お父さんが元気でいますように」「お母さんと^{かあ}

^{なかよ} ^す
仲良く過ごせますように」「おじいちゃんと

^{こめ}
おばあちゃんのお米がたくさんできますように」



はつもうで うち かえ
初詣をして、お家に帰ってきたかずくんたち。

かあ りょうり た
お母さん「さあ、みなでおせち料理を食べましょう」

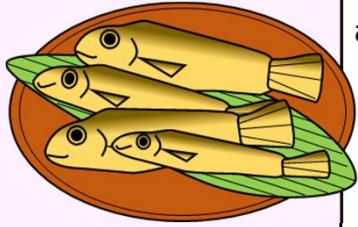
とう にほん しょうがつ
お父さん「これぞ『日本のお正月』だね」

かずくん「おせちはいろんな願いが込められてるんだよね？」

かあ ．．． おし
お母さん「そうだよ。おせちのいわれを教えてあげるね」



りょうり す かてい
おせち料理は住んでいるところや家庭に
つく りょうり かた ちが
よって、作る料理やつめ方などが違うのよ。



たつく ざいりょう
田作り（材料：ゴマメ）

カタクチイワシのこどもをほしたものです。
むかし う とき た こま
昔はイネを植える時に田んぼにコイワシを細か
くきざみ、はい ひりょう ことし
くきざみ、灰にまぜて肥料にしました。今年も
いいお米がとれますように、という願いをこめ
て田作りという名前と呼ばれています。

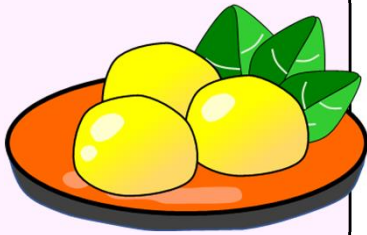
かず こ ざいりょう
数の子（材料：カズノコ）

かず こ たまご
数の子にはとてもたくさんの卵があるので、
かずおお こ や こ
数多い子、つまりわが家がこれからも子どもが
たくさん生まれて代々栄えますように、という
い み
意味があります。



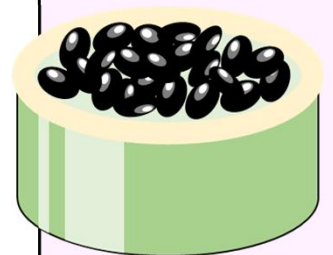
ざいりょう
きんとん（材料：サツマイモ）

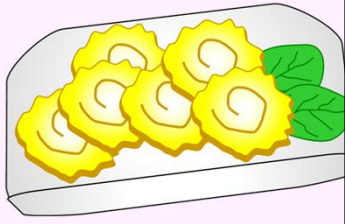
きんとん きん あつ
きんとんは「金団」と書き、金の集まったも
の、ざいほう いみ ことし せいかつ
の、財宝という意味です。今年もゆたかな生活
がおくれますようにとの願いをこめています。



くろまめ ざいりょう
黒豆（材料：クロマメ）

まめ いみ かぞく
豆はまめまめしいという意味。家族みんなが
ことし ねん げんき はたら
今年も1年まめで元気にすごせますように、働
けますようにという願いをこめています。

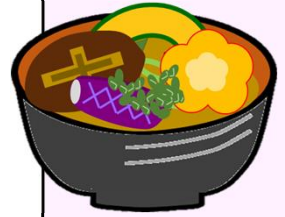




だてまき（材料：タマゴ、はんぺん）
 えど こ き あらわ だて まきもの ま
 江戸っ子の気だてを表す伊達と、巻物の巻き
 があわさって「だてまき」と言います。昔は本
 よ もの ま もの
 のような読み物は巻き物になっていたのもので、
 ぶんか はってん あらわ
 文化の発展を表しているといわれています。

やさい にもの 野菜の煮物

おおぎ やさい なべ い
 大切りにした野菜などを鍋に入れていっしょ
 に煮しめていくお煮しめは、かぞく
 いっしょに結ばれるという意味があります。

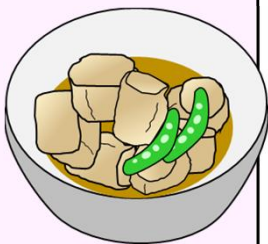


ゴボウ

こんやさい いっか どだい
 根野菜なので一家の土台がしっかりするよう
 にとのねがいがこめられています。

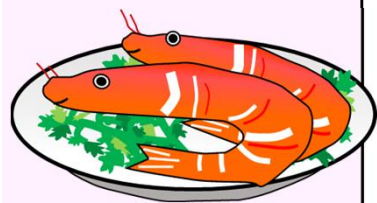
レンコン

むかし きよ しょくぶつ
 昔からレンコンは清らかでけがれの無い植物
 とされています。ね
 とされています。根にあながあいているので、
 みとお いみ
 見通しがよいという意味もあります。



サトイモ

おや ね こ で そだ
 親イモになると根もとから子イモが出て育つ
 こ
 ので、子どもがたくさん生まれるように願う
 いわ つか
 お祝いごとに使われます。



えび

ゆでたり、焼^やいたりすると、エビの背^せが丸^{まる}く
なるところから、腰^{こし}が曲^まがるまで健康^{けんこう}で長^{なが}生き
できますように、という願^{ねが}いをこめています。

こぶ巻^まき（材料^{ざいりょう}：コンブ）

こぶ巻^まきの「こぶ」が「よろこぶ」と同じ音^{おな おと}
の言^{ことば}葉^はなので、おめでたいとされています。



なます（材料^{ざいりょう}：ダイコン）

色^{いろ}の白^{しろ}いダイコンは、清^{きよ}らかな生^{せい}活^{かつ}を願^{ねが}って
食^たべます。また、大^{だい}地^ちに根^ねをはるので、家^{いえ}の
土^ど台^{だい}がしっか^{さか}りして栄^{さか}えるともいわれています。



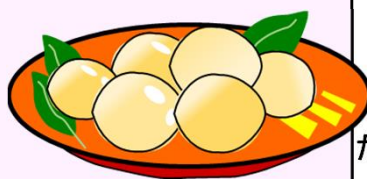
菊花^{きっか}かぶ（材料^{ざいりょう}：カブ）

菊^{きく}は日^に本^{ほん}の国^{くに}の花^{はな}で、昔^{むかし}からお祝^{いわ}いのとき
に使^{つか}われてきたので、お正^{しょう}月^{がつ}のよう^{よう}な
おめでたいときにも登^{とう}場^{じょう}します。

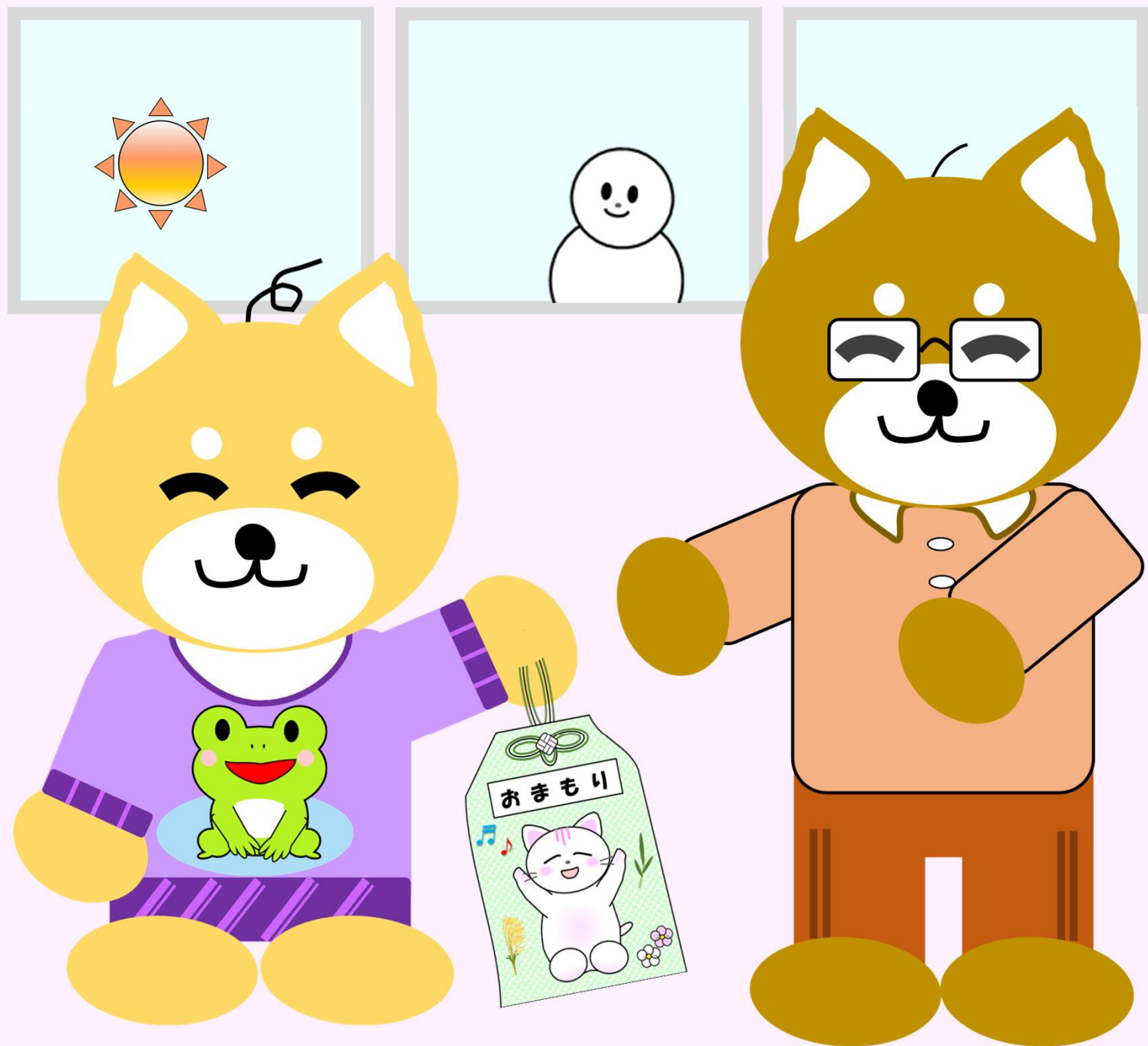


きんかんの甘^{あま}煮^に（材料^{ざいりょう}：キンカン）

キンカン「金^{きん}冠^{かん}」と書^かき、金^{きん}のかんむり、
宝^{たから}物^{もの}を意^い味^みします。きんとんと同じ^{おな}よう^{よう}に生^{せい}活^{かつ}
のゆたかさを願^{ねが}っています。



（※）おせち料^{りょう}理^りのいわれは諸^{しょ}説^{せつ}あります



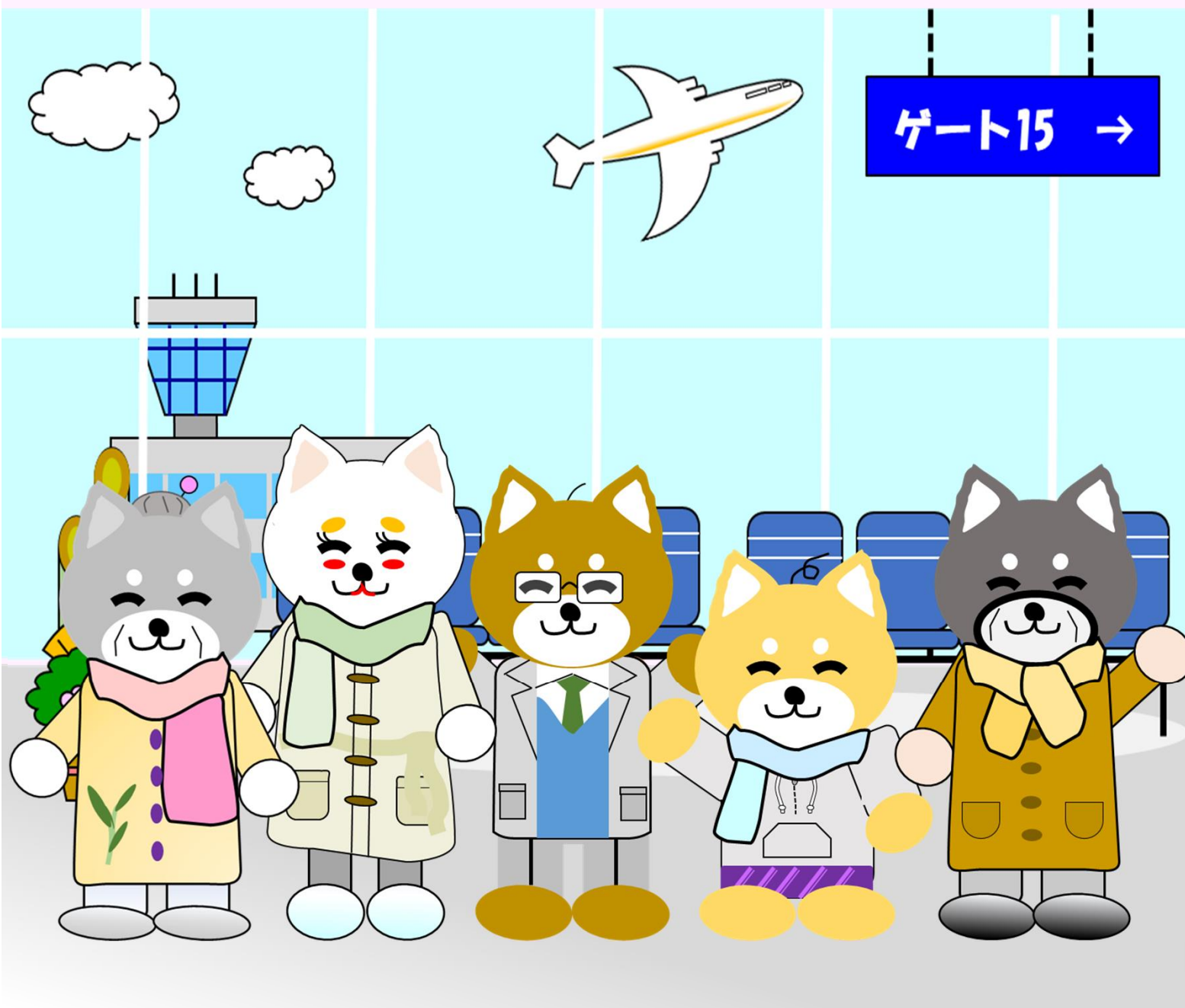
たの しょうがつ お とう がいこく もど
楽しかったお正月が終わり、お父さんはまた外国に戻ります。

とう も い
かずくん「お父さん、これ持って行って。」

かあ おし つく
お母さんに教えてもらって作ったの」

じぶん つく まも とう わた
かずくんは自分で作ったお守りをお父さんに渡します。

とう だいじ
お父さん「ありがとう、大事にするね」



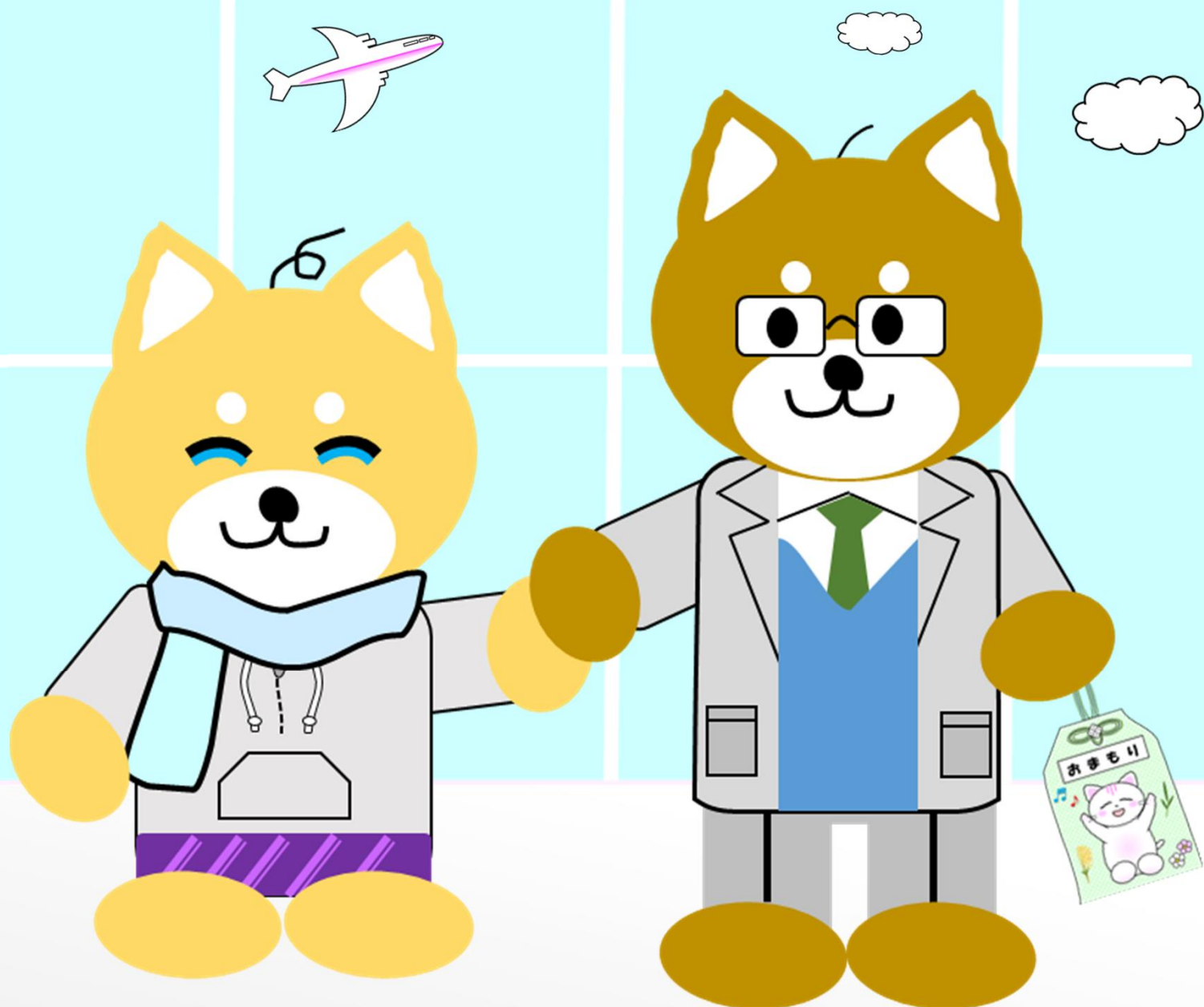
^{とう}お父さん^{み おく}を見送るために、^{くうこう}空港に^{あつ}みんなが集まりました。

おばあちゃん「^{からだ き}体に気をつけて」

おじいちゃん「^{げんき はた}元気に働いてくるんだよ」

お母さん「^{かあ}早い^{はや}お帰り^{かえ}を^ま待っています」

^{とう}お父さん「みんな、ありがとう。かずくんのこと、^{たの}頼みます」



とう すこ かえ
お父さん「もう少ししたら帰ってこられるから。」

はな あそ
そうしたらたくさんお話しして、たくさん遊ぼうね」

やくそく
かずくん「うん、約束だよ！」

ほんとう
本当はさみしいかずくん。

えがお とう み おく
でも、かずくんは笑顔でお父さんを見送りました。

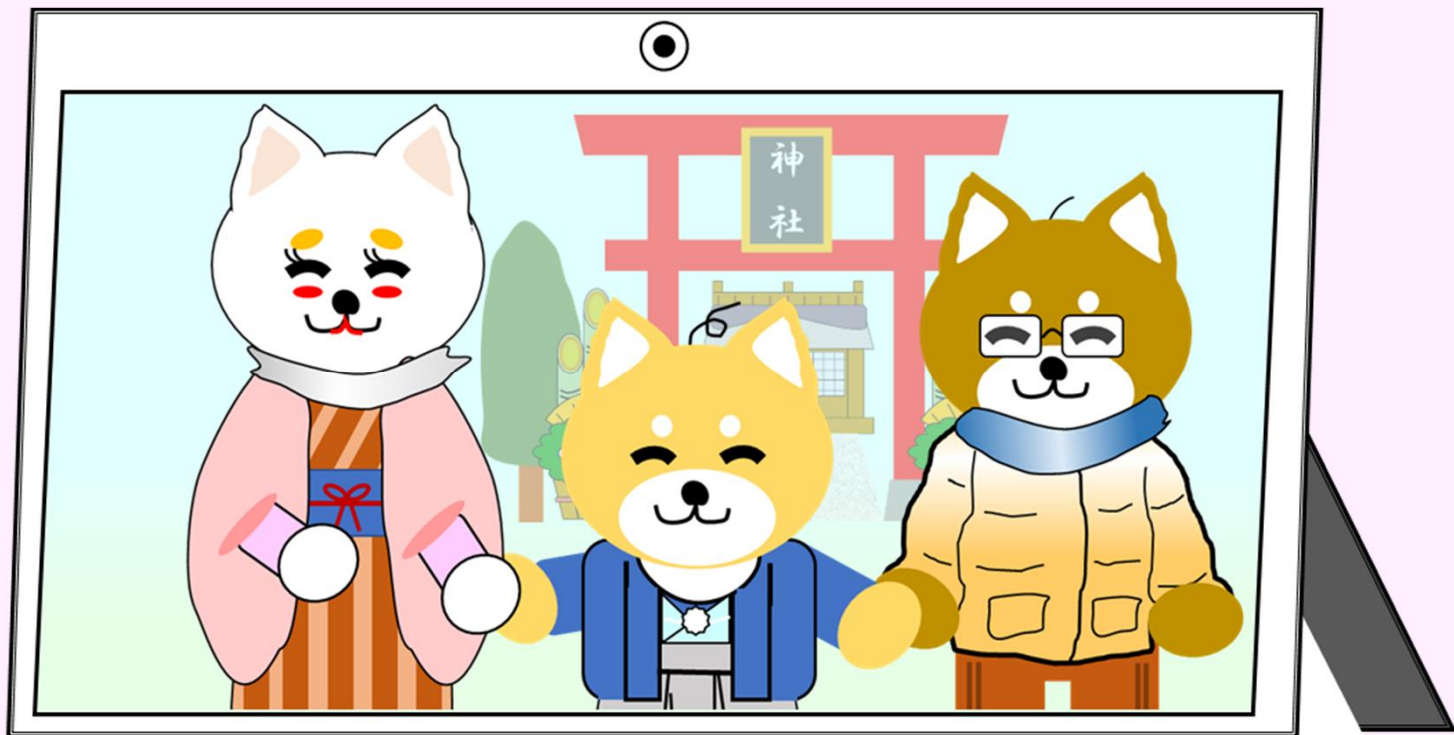


ひこうき み て ふ
かずくんは飛行機が見えなくなるまで手を振りました。

とう かえ ところ い
かずくん「お父さん、帰ってきたらいろんな所へ行こうね！」

はつもうで ねが とう はや かえ
初詣のとき、もうひとつお願いした『お父さんが早く帰って
かみさま
きますように』は、神様がきつとかなえてくれます。

～ おしまい ～



農林水産省東海農政局
経営・事業支援部
食品企業課



令和5年12月